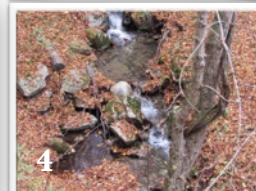
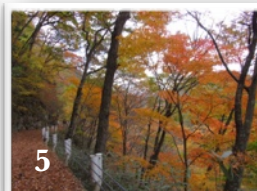
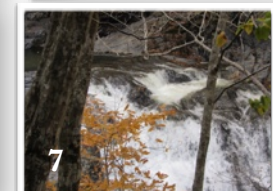


ふくしま 再生 短信



2017/11/5 野手上山遊歩道定例見回り同行記

※ の て が み や ま 野手上山絶景 ※

2017年11月5日、ふくしま再生の会が実施する「うつくしま百名山」と謳われる野手上山遊歩道の定例見回りに記者は同行した。



山の師匠

小原壮二さん（右）と畠堀操八さん、二人ともいくつもの山を踏破してきた名人である。

山の師匠、小原壮二さんと畠堀操八さんが倒木や雑草の繁茂、地形の変化などによる危険箇所の有無を入念に見回った。野手上山（標高628m、写真1）は野手神森と言われ行者の修行場として知られ、天狗が住む山として信仰されてきた。遊歩道入口に野手神山

神社大鳥居（写真2）、山頂に神社（写真12）がある。麓を周回する比曽川の溪谷（写真3～5）、新田川の溪谷（写真6～11）には紅葉を背景に深い谷に展開する清流、目を見張る大小の滝の数々。これらの景色の美しさはまさに息を呑むばかりである。午前10時半遊歩道出発、昼食をはさんで新田川の溪流から山頂をきわめて午後3時半に下山。ちょうど五時間の全行程を終えたところで、昨晚ドイツにおける人間と自然の共生・再生エネルギー展開の講義をして頂いたベルリン自由大学教授・福澤啓臣さん（右写真中央）の「出迎え」を受けた。（文責&撮影・若林一平）

